

# プログラム：「いもむしのたからぶくろ」

NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

## ■プログラムの概要

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚以外の感覚で自然を感じる</li> <li>・精神を集中する</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目を隠すことで、視覚に頼って（8割がた）いたのを、他の感覚（聴覚、臭覚、触覚）を使って、感じ取ろうとする感性を磨く。</li> <li>聴覚－周りから聞こえてくる音を聞く。鳥・虫・風の音など</li> <li>臭覚－周りのにおいをかぐ。木の葉や、花の匂い、草むらの匂い、</li> <li>触覚－手や頬で、樹皮の感じや温度を感じる。手で花の形、葉の形を感じる。</li> <li>手の平や足の裏で、地面の感触や温度を感じる。葉っぱを一枚拾い、表裏を当てる。木のまわりを一周しながら当りの様子を探る。風の吹いてくる方向や、太陽の位置などを指さす。チクチクしたものやすべすべしたものを触る。日向のものひかげのものの温度の違いがわかる。</li> <li>味覚－事前に用意しておいた木の実などを味わう。（雨つぶを舌で受け止める）</li> <li>・友だちと助け合って、安全に活動が出来る。</li> <li>・自然の中の活動で心身を開放し、豊かな情操を育てる。</li> </ul>		
分野	自然・アメニティ分野		
対象	幼児（大人のスタッフと共にグループで5歳以上）から大人まで		
主な生活分野	保育所保育指針 教育に相当する5領域のうち・人間関係・環境・言語・表現		
時間	60分	実施場所	園庭・公園・団地の中庭
使用するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バンダナー人1枚（目隠し用）</li> <li>・「いもむしのたからぶくろ」の創作紙芝居・風船と膨らませる器具（宝入れ）</li> </ul>		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、あいさつ</li> <li>2、ゲーム「コウモリとガ」みんなで仲良く。（アイスブレイク）</li> <li>3、「いもむしのたからぶくろ」の紙芝居を途中まで読み、みんながいもむしになってアオスジアゲハのお母さんを助けるため、自然のたからものを探しに行く。</li> <li>4、かかりぎめー・大発見したことの発表者・れんらくかかり・</li> <li>5、指導者に従い、場所によってグループで目かくしイモ虫の行動をする。（補助者スタッフが先頭で向かい合う）</li> <li>6、集合・贈り物を発表（分かち合い）－何を感じたり、見つけたりしたか、アオスジ母さんへのおくりものを発表する。みんなは拍手。贈り物を風船につめていき、アオスジ母さんの寝ている絵に吹き付けると、たちまち、母さんは・・・。</li> </ol>		
関連プログラム・事例	日本ネイチャーゲーム協会“ネイチャーゲーム アクティビティ編”「目かくしイモ虫」P192～3参照		

## ■進め方

時間	活動内容	指導上の留意点
0～3	あいさつ 自己紹介	楽しく交流
3～8	今日の遊びの内容を説明	
8～15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウモリとガ 食物連鎖の上位のコウモリが下位のガを食べるため追いかける。ガは逃げる。超音波に代わり、コウモリは目隠しをして「バットバット」といいながら追いかけて、それを聞いたガの役の子は「モズモズ」と答えながら逃げる。捕まったら輪に戻る。交代 幼児の場合コウモリは先生かスタッフが行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内・屋外どちらでもできる。野外が楽しい。</li> <li>・1グループ 12～15人がやりよい。そのうちコウモリ一人、ガが3人計4人が輪の中に入り、残りの子で手をつなぎ輪を作る。輪の子はモズモズと一緒に言わないこと。</li> </ul>
15～20	トイレ・水のみ休憩	保育園・公園のトイレ引率
20～35 35～50  50～55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いもむしのたからぶくろ」のお話を読み聞かせ</li> <li>・探検隊を作り、宝探しに出発</li> <li>・手で触らせたい草や葉、樹木の幹、草花などがある場所の近くへ行ったら、目かくしをして匂いを嗅いだり、葉に触ったりする。(目かくしは5分程度) 2～3回それを繰り返す。</li> <li>・分かち合いーアオスジアゲハのお母さんを助けるため、見つけてきた宝を発表し、袋に詰める活動を行う。(風船を膨らませていく) 最後に、その風船を寝ているお母さんに吹きかけ元気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭などフィールド 安全(事前チェック・活動中)</li> <li>・指導者が引導する</li> <li>・触らせたい葉や花、歩くコースを事前に現地調査をして決めておく。</li> <li>・たからものは、空、風、葉っぱ、木、花などに分けて、発表していく。</li> <li>・ふきかけるのは、紙芝居の絵面へおこない、ぱっとページが変わるようにする。</li> </ul>
55～60	まとめー感想などふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎・クラス全体などで分かち合い(人数による)</li> </ul>

### ■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
バンダナ	一人1枚	家庭から持参・保育園保持どちらでも（大判ハンカチ）
紙芝居		NPOが用意
ゴム風船と器具		NPOが用意
集合用タイコ	一つ	保育園所有のもの

### ■実施にあたって留意する点

- ・ 保育園と周辺公園などの自然環境の事前チェックー園庭・地域の公園など利用可能性
- ・ 雨天時ーコウモリとガ（出来たら5歳児以上）、音いくつ（3歳以上）など、変更可能延期など。
- ・ 事前打合せー実施1週間ほど前に行う。